

# 第3回 新進指揮者 コンサート



指揮／浦 優介



© SHIGETO Imura

指揮／松川 智哉

2021 11/26 <FRI>

三井住友海上しらかわホール

18:00<開場> 18:45<開演>

お問い合わせ／チケット取扱い

山田音楽財団事務局 ☎052-533-6708  
セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

全自由席

プログラム

シューベルト：交響曲第7番ロ短調

「未完成」……………<浦 優介>

メンデルスゾーン：交響曲第3番イ短調

「スコットランド」……………<松川 智哉>

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

主催：



公益財団法人  
山田貞夫音楽財団



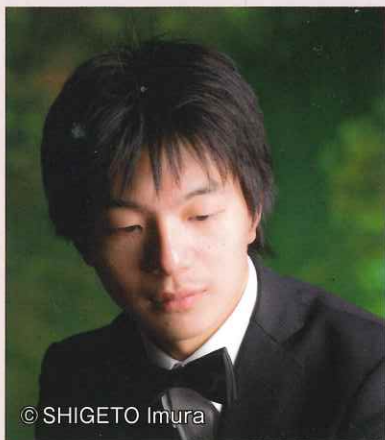


# 第3回 新進指揮者コンサート



浦 優介 *Yusuke Ura* ~指揮~

関西学院大学商学部を卒業後、くらしき作陽大学音楽学部にて指揮を学ぶ。  
指揮を中井章徳、高谷光信、ニコライ・スーカッチ(チェルニーゴフフィル音楽監督)、ユーリイ・ジャチェンコ、ピアノを重川逸呼、金子葉子、イリーナ・デニセンコ、マリヤ・リンニク、ホルンを中西順、アレクサンドル・オブチャールの各氏に師事する。  
大学時代、関西学院交響楽団に学生指揮者として3年間所属し、中井章徳氏、大河内雅彦氏、横島勝人氏のアシスタントコンダクターを務める。  
2013~2016年「おりなす八女音楽塾」指揮マスタークラスを修了し、大山平一郎氏の指導を受ける。  
2016~2019年ウクライナ国際指揮マスタークラスを修了する。  
同マスタークラスにおいて、スラブ音楽奨励賞(2016年)、優秀指揮者賞(2019年)を受賞し、修了演奏会に選抜され指揮者を務め、好評を博す。  
2018~2019年名古屋芸術大学主催の高谷光信指揮マスタークラスを受講する。  
2019年ルーマニア国立ブカレスト国際音楽大学主催の国際指揮マスタークラスを修了し、ヨルマ・パヌラ氏、ジン・ワン氏の指導を受ける。  
2021年公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて、山田貞夫音楽賞及び特選を受賞。  
これまでに瀬戸フィルハーモニー交響楽団をはじめ多くの演奏団体を指揮する。  
また市民オーケストラ・吹奏楽などで客演を重ねている。  
現在、ウクライナ国立コトリアレフスキー記念ハリコフ芸術大学指揮科に在学し研鑽を積んでいる。



© SHIGETO Imura

松川 智哉 *Tomoya Matsukawa* ~指揮~

洗足学園音楽大学音楽学部作曲コースを経て、東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。在学中に推薦を受け、野村学芸財団奨学生。  
2021年度山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて山田貞夫音楽賞ならびに特選を受賞。  
2019~2021年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、各種公演に指揮者アシスタントとして関わり研鑽を積む。  
これまでに指揮を尾高忠明、高関健、Douglas Bostock、川本統脩の各氏に、作曲・音楽理論を久行敏彦氏に、ピアノを故・谷畑俊枝、羽石彩子、星野苗緒、竹内真紀の各氏にそれぞれ師事。  
この他、在学中に学内でのマスタークラスにて梅田俊明、山田和樹、Jorma Panula、Peter Csaba、Laszlo Tihanyiの各氏のレッスンを受講。  
これまでに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、芸大フィルハーモニア管弦楽団、富士山静岡交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪交響楽団他を指揮。  
現在、オーケストラ、吹奏楽、合唱の指揮者として幅広く活動する他、オペラの副指揮者として多数の公演に参加。佐渡裕芸術監督プロデュースオペラには、2017年「フィガロの結婚」、2018年「魔弾の射手」、2019年「On the town」、2021年「メリー・ウィドウ」の各公演に参加。  
この他、びわ湖ホールプロデュースオペラにて2019年「ジークフリート」、2020年「神々の黄昏」、2021年「ローエングリン」、2017年10月三枝成彰作曲「狂おしき真夏の一日」初演、2018年12月長野県伊那文化会館開館30周年記念オペラ「愛の妙薬」、2019年9月一番星オペラ「椿姫」、2019年12月藤沢市民オペラ「湖上の美人」、2021年東京シティフィル「R.ワーグナー『ニーヘルングの指環』ハイライト特別演奏会〜飯守泰次郎 傘寿記念〜」などの各公演にて副指揮者を務めた。

## セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期1年)として迎えることとなり、2021年度は阿部未来が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。